

<p>(11) 新中学生</p>	<p>○家を出る中学生</p> <p>81 5月、 真新しい制服を着た 中学1年生が岸壁へ向かいます。 彼のフェリー―通学は まだ、始まったばかり。 島の人々が、みんなたどってきた 道です。</p>
	<p>○岸壁へ向かう</p> <p>○船に乗る人々</p> <p>82 午前7時16分、 蛤発第2便。 いつものように 通勤、通学の人々を 乗せて宇和島へ向かう 第八くしま。</p> <p>○宇和島へ向かう船</p> <p>83 この姿が見られるのも あと数年です。 というのも、 九島に橋がかけられることにな ったからです。</p>
<p>(12) エンド</p>	<p>○段畑ロングPAN</p> <p>84 遊子水荷浦の段畑は、 宇和島に生きる人々の記憶に残る ふるさとの風景です。</p> <p>○船から見た九島</p> <p>85 かつて九島も石垣が天まで届く 段畑の島でした。</p>

○船ZB港ロング

86 その九島にやがて橋がかかります。

念願だった橋ができると、島の生活も
また変わるにちがいありません。

○漁船フオロー

87 けれども、島の人々が島を愛する心、

ふるさとを愛する心、

それはいつまでもきつと変わらない
ことでしょう。

○漁船出港夕景

○遠去る九島夕景

○宇和海の夕景ロング